

四日市商業高校に進学

中学3年の夏、母親に進路の相談をしていると、横で聞いていた親父が間髪入れずに「四日市商業へ行け」と叫んだ。父は尋常高等小学校しか出ていないため、自分は読み書きそろばんがへただ、と常々言っていた。

算数と理科、英語はいつも「5」、国語と社会は「3」という成績だった私は、工業高校に進みたかった。しかし親父は「高校で教える程度の技術はおれが教えてやる」と言い張った。当時の四日市商業高校の卒業生の給与は県下で最高だったらしい。われわれより年長の世代や親父の世代は四日市商業に憧れを抱いていたようだ。

当時は親の反対を押し切って志望校に行くなんて考えられない時代だった。

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 6



私時代の四日市商業高校

た。ただ私としては行きたくもない。高校に強制入学させられた思いだ。噂以上に規律に厳しい校風にも閉口した。あれもダメ、これもダメとダメのバスターハイ出場を果たしていた強豪メックだったが、結果的にはそれが私を「良い子」にしてくれたと思っ

た。ただ私としては行きたくもない。学課に興味があつたのでスポーツに力を入れることにし、連続7年バスターハイ出場を果たしていた強豪メックだったが、結果的にはそれが私を「良い子」にしてくれたと思っ

た。ただ私としては行きたくもない。学への進学をいったんは諦めたが、学期末の3月に再び進学を決意した。普通校との学力差を克服するための勉強時間が必要になり、部長に退部を申し出たが、予想通り厳しい言葉が返ってきた。3年生になり主力選手としてバスターハイ出場を目指すこの時期に、誰かが退部を申し出れば、私でも腹が立つだろうと考えた。

強豪バスケット部に入部したが：

私が幼いころにビルマから復員した

走っていたように、当部の強さはスタミナにあつた。試合では前半、15点程度のハンディなら、後半に残った体力でかき回し、必ず勝利した。

叔父は「多くの戦友が戦死したのに、おれは帰ってきた。本当に戦友に申し訳ない」と度々話し、靖国神社に参っていた。体格に恵まれない叔父はトラックに乗り、後方支援をしていたが、それでも辛いので家族にも話したくないと言っていた。私が退部した時の辛

高2の9月に伊勢湾台風を経験した。工場の被害が大きかったので、大